平成２７年度

創立３６年

安積三小　　学校だより
三しょうの丘　　No.4
（承認　賞賛　奨励）

平成２７年　７月１７日
安積第三小学校

はきものを　そろえると
心もそろう　はきものもそろう
ぬぐときに　そろえておくと
はくときに　心がみだれない
だれかが　みだしておいたら
だまって　そろえておいてあげよう
そうすればきっと
世界中の　人の心も　そろうでしょう

福井には、永平寺という大きなお寺があります。永平寺は、１２４４年に、道元というお坊さんによってひらかれたお寺です。

今から　約７７０年前、鎌倉時代のことです。大晦日の除夜の鐘のテレビ放送では、雪化粧をした永平寺がよく映し出されます。永平寺の入り口に**「脚下照顧」**と書いた札があります。

漢字の意味は、「足下を照らし顧みよ」ということです。つまり、他に対して理屈を言う前に自分の足もとをよく見て、自己を反省しなさいという意味です。

長野県のあるお寺の住職をされていた藤本さんが、この考えをわかりやすく詩に書かれています。その詩が、上の詩です。

履物をそろえておくことは、どんな意味があるでしょう。友達の家に遊びに行った時、靴をそろえて脱ぐのは当たり前の礼儀です。トイレのサンダルは、次の人が履きやすいようにかかとの方を手前にそろえて脱ぎます。次に使う人も気持ちがよいのではないでしょうか。また、本校の児童昇降口の下駄箱の靴は、いつもきちんとそろえられています。今日も１日心を落ち着かせて勉強や友達との生活に頑張っていこうという子ども達の心意気が伝わってくるようです。

これからも、履物も心もそろった安積第三小学校にしていきたいと思います。

私が心した「子育て三箇条」

私の子育て三箇条を紹介させていただきます。夏休み中、子育ての参考にしていただければと思います。

１つ、「一緒の時間を作る」

夏休み、ちょっとの時間を作って、キャッチボールの相手をしてみませんか。料理を一緒に作ってみませんか。大きくなってからも、お子さんはそのことを覚えています。私の家には、夏休み子ども達と一緒に作った本棚があります。その本棚から本を取り出すたびにあの頃のことを思い出します。大きくなったら、子ども達は、親からどんどん離れていきます。心の絆を太くしておくため、一緒の時間を作ってください。

２つ目、「一緒にルールを考える」

例えば、夏休みに入ると、ゲームばかり夢中になるお子さんがいるかもしれません。「何時間やっているの！」と叱る前に、あるいは、「ゲームは１日１時間まで」と、親から一方的にきまりを押しつける前に、話し合うことをお勧めします。「さて、夏休み。ゲームどうする？」「スマホの使い方は？」等々、約束事は話し合いで決めた方が、その実効性が高まります。

最後に、「一生を考え、子育て・家族優先」

人生の最後見守ってくれるのは、きっと「我が子・我が家族」になるのではないでしょうか。同僚や先輩の誘い、仕事や自分の趣味、娯楽に、優先すべきは、「子育て！」と心したいものです。

余計なことを書きましたが、ぜひ、家族の絆を太くする夏をお過ごしください。